胃がん施設検診のお知らせ

町総合健診（集団健診）は、８月29日に始まります

◆会社などで受ける機会のない方、人間ドックや町総合検診などでお受けになれない方は、年1回忘れずに検診しましょう。

◆施設検診では、胃X線直接撮影（バリウム検査）と内視鏡検査（胃カメラ）が、選択できます。

【実施期間】
8月1日（月）～平成24年1月31日（火）

【対象者】
40歳以上の方（年度内に達する方）なお、食道・胃疾患により治療中の方、胃切除等の手術をされた方は対象外になります。

【検診料金】
個人負担金　2,500円（検診当日、受診医療機関に直接お支払いください。）

【検診内容】
胃X線直接撮影または胃内視鏡検査（一次検診のみ。それ以外の検査は自己負担となります。）

【受診方法】
実施期間内に検診できるよう医療機関にご予約のうえ、健康福祉課（☎62―2115）へお申し込みください。自宅あてに受診票を送付いたします。

※昨年（平成22年度鏡石町施設検診）受診された方には、受診録を送付しますので、町への申し込みは必要ありません。

◎問合わせ先
健康福祉課
☎62―2115

●がん検診（施設）実施医療機関

①エックス線・内視鏡どちらも可能

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
あづまクリニック	72－3755	小橋クリニック	72－1555
(医)三愛会池田記念病院	75－2165	(医)平心会須賀川病院	75－2211
石川内科	63－9020	(医)社団三成会　南東北春日リハビリテーション病院	63－7299
(医)折笠クリニック	72－7065	みやのもりクリニック	72－1222
熊田医院	65－3588	(医)矢吹医院	62－2018
公立岩瀬病院	75－3111	(医)渡辺内科胃腸科クリニック	76－5511

②内視鏡検査のみ

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
鏡石クリニック	92－2113	天栄村国民健康保険診療所	84－2005
(医)啓正会 国分内科クリニック	73－1155	ブナの木内科診療所	66－1550
国立病院機構福島病院	75－2131	(医)山田クリニック	63－0101
須賀川南クリニック	94－8135	(医)田中医院	82－2589
(医)関根医院	73－1035		

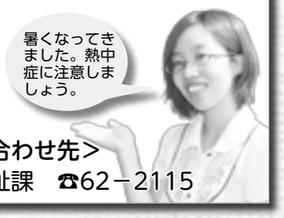
◆がんは無症状のうちに進行します。

がん治療の進歩で早期発見・治療による生存率は、確実に高くなっています。自覚症状もない時に発見された人の胃がんの治癒率（5年生存率）は98％程度。早く見つければ治せる病気になっています。そのためにも、定期的に検診を受けることが大切です。もし、何か気になる症状がある場合は、検診を待たず、すぐ医療機関を受診（保険診療）するようにしましょう。

③エックス線検査のみ

医療機関名	電話番号
あべ内科医院	69－1122
(医)三恵会春日クリニック	75－3551
(医)西間木医院	76－3400
針谷クリニック	62-5200

保健師からのお知らせ



＜問い合わせ先＞
健康福祉課　☎62－2115

日本脳炎予防接種のお知らせ

平成17年度から平成21年度にかけての予防接種の積極的接種勧奨の差し控えによって、第１期、第２期の接種が行われていない20歳未満者（平成７年６月１日以降に生まれた方）の接種方法について、お知らせします。

①**第1期の初回接種のうち1回受けた方**：6日以上の間隔をおいて残りの2回の1期接種を行う。
②**第1期の初回接種2回を受けた方**：6日以上の間隔をおいて第1期追加接種を行う。
③**第1期3回の予防接種が完了している方**：第2期は、9歳以上の方に対して、1期終了後6日以上の間隔をおいて行う。
④**日本脳炎の接種を全く受けていない方**：第1期の接種は、初回接種として、6日から28日までの間隔をおいて2回接種し、追加接種として初回終了後、おおむね1年を経過した時期に1回の接種を行う。

※第2期の接種は、第1期の終了後おおむね5年の間隔をおいて接種するものであり、この間隔を参考にすることが望ましいとされています。

インフルエンザにご注意！

本県及び隣接各県でインフルエンザの小流行が見られます。

一度インフルエンザにかかった人でも違う型のインフルエンザには感染しますので、ご注意ください。

【インフルエンザの予防のポイント】

●十分に栄養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理をしましょう。

●外出後の手洗い、咳があるときはマスクを着用しましょう。

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現われます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。小児の急性脳症、高齢者や免疫力が低下している人では肺炎併発など重症化する場合がありますので、注意が必要です。

放射線の健康影響を低減させる暮らしの工夫

福島第一原子力発電所事故により大気中に放出された放射性物質について、鏡石町で現在観測されている放射線量はただちに健康に影響をおよぼすレベルでないとされていますが、これからの被爆を低減する工夫についてご紹介します。

◆野菜を洗う、煮る（煮汁を捨てる）、皮や外葉をむくことによって汚染の低減が期待できます。（独立行政法人放射線医学総合研究所）

◆側溝など汚染物質が溜まっている場所には長時間いたりしない

◆外で転んで怪我をした場合は、放射性物質があるからという理由だけでなく、できるだけ早く流水で傷口を洗浄する。

◆体表面に傷がある時は絆創膏などで覆う。

◆不必要に雨にあたらない。

◆屋外の泥や埃をできるだけ家に持ち込まない。

◆埃の多い所などではマスクを着用する。

◆帰宅したらすぐに手洗い、うがいをする、あるいはシャワーやお風呂で洗浄する。

このように、日常から、インフルエンザの防止や花粉症対策のためにしていることが、放射線被爆を低減させるためにも有効です。

参考資料：食品と放射能（消費者庁）　福島原子力発電所の事故に伴う放射線の人体影響に関する質問と解説

総合相談室開設　火曜から金曜の午前９時から午後４時まで総合相談室で受け付けています。